



○ 草の根パートナー型

平成21年度第一次補正予算による草の根技術協力事業 緊急経済危機対応-フォローアップ型採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	パナマ
2. 事業名	APROVACA経営安定化プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	パナマ共和国は南北アメリカ大陸の地狭部にあり、両大陸起源の動植物が共存し、特に、ランは多数の固有種を含む約1,500種以上が自生している。エルバジェ・デ・アントン（以下エルバジェと称す）はエルバジェ火山のカルデラ湖跡にできた盆地で、外輪山Cerro Gaitalは国の自然保護区に指定されており、エルバジェの人口は6,175人である。観光客が多く訪れる地域であり、住民がランを採取し、観光客に販売するためその絶滅が危惧されている。そのため、エルバジェ住民はNPO組織APROVACA（エルバジェ地域ラン栽培者協会）を結成した。2008年、COSPAはAPROVACAの活動を支援し、ラン採取に代わる職業としてエコツーリズムを導入することで、住民の生活向上とラン保護の実現を目指す草の根技術協力事業を行った。その成果としてAPROVACAの活動は活性化された。しかし、エコツーリズム事業は端緒に付いたばかりで、支援を継続し野生ランの保護活動の中心であるAPROVACAの運営を安定的で持続できるものにする必要がある。
4. 事業の目的	野生ランの保護活動の中心であるAPROVACAの運営を持続的に安定させ、野生蘭の保護と住民の生活向上を達成する。
5. 対象地域	パナマ共和国コクレ県エルバジェ周辺
6. 受益者層	地域住民組織APROVACA（30家族）及び約6,000名のエルバジェ地域住民
7. 活動及び期待される成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. ランセンターの広報活動を強化し知名度を高め、来園者を増加させる。 2. エコツアーを継続実施し、ガイド収入を高めAPROVACAの収益を上げる。 3. ランセンターで販売する商品やサービスを増やし、販売を増加させる。 4. 専任職員を雇用・訓練し、APROVACAの運営能力を向上させて経営を改善する。 5. 子供対象の教育プログラムを導入し、市民の自然保護への関心を高める。
8. 実施期間	2009年11月～2012年3月まで（2年5か月）
9. 事業費	15,000千円
10. 事業の実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・日本側（日本側支援体制、広報等）COSPA プロマネは総括すると共にラン栽培の指導を行う。現地調整員、現地連絡員、国内調整員がプロジェクト推進にあたる。 ・相手国側（相手国実施機関の概要等）APROVACA
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	COSPA
2. 活動内容	パナマの野生蘭を保護する活動。パナマにおいてAPROVACAの活動を支援し、国内において活動の広報活動を行う。